

3行政が力を入れるべき課題	4NPOや関係団体が力を入れるべき取組
<p>(1) ひとづくり</p> <p>【豊かな心と丈夫な体、自分の可能性を高める】</p> <p>・心豊かな、とか、健全な、などといった理念により、親子のふれあい、機会について年間様々な行事・企画があり、素晴らしいと思うが、親と一緒に参加できない子がおいていかれている感じも受ける。母子家庭や父親の単身赴任などで、親子で参加が難しい子たちにも地域の行事に参加できるような取組が必要なのではないか。</p> <p>【社会への旅立ちへの支援】</p> <p>・有効求人倍率がいくら高くても、離職率が高い。家庭と学校と職場のギャップを埋める事業に力を入れて欲しい。</p> <p>【困難を抱える青少年への支援】</p> <p>・不登校児童への支援として、学校以外の可能性の検討</p> <p>・ニートやひきこもりへの相談支援の充実（同様意見2）</p> <p>・県として、ひきこもり状態の方及び家族に対する、包括的な支援の仕組みづくり。</p> <p>・市町村として、ひきこもり状態の方の把握、ひきこもり状態の方や家族に対する相談窓口の整備、ひきこもり状態の方に対する個別支援（訪問相談等）。</p> <p>・ニート対策としての仕事づくり、手仕事や販売できる物作り、職場と販路の確保。引きこもりを生まない親の育成、これから親になる若者に向けた、子育て能力醸成のための教育</p> <p>・ニート・ひきこもりになる前の研修（なりうるのではないかという兆しがわかるための、保護者や教育職等の理解や連携がどうあれば良いか、地域の人はどう援助するかなど。これまでの岩手又は各市町村の若者の傾向を踏まえて広く知ることができる機会があっても良いのではないか。）</p> <p>・若年無業者数0人を目指して、とにかく家にいて家事も手伝わず労働をしない若者が居なくなるように、何か県でも市町村でも皆、誰かの役に立てる仕事、ボランティア活動を必ずやらないと課税になる、など。生活保護を受けている健康な人も同様。パワーがあるのにエネルギーに変えないのはもったいない。地域のゴミ拾いなど小さなことでもポイント制にして取り組めば本人も達成感を得られるようになると思います。本人にとっても地域にとっても良い取組って何かないですかね？シティマラソンのボランティアかランナーとしての参加も良いと思います。自分からは動かないので何か招待状とか。</p> <p>・高校を退学した者に対する働きかけの在り方。</p> <p>・最近県内でも増加している「子ども食堂」的な取組への行政支援は可能か。</p> <p>【社会参加の機会の拡大】</p> <p>・様々な事情により社会と関りができにくくなっている人たちにそれぞれに対応できる相談窓口の設置と社会参画していけるシステムの構築（ニート・ひきこもりの人たちが自立していける支援）</p>	<p>(1) ひとづくり</p> <p>【豊かな心と丈夫な体、自分の可能性を高める】</p> <p>【困難を抱える青少年への支援】</p> <p>・福祉や教育は必要なところこそ施されるべきであり、困難を抱える青少年の自立支援への積極的な取組</p> <p>・若年無業者を把握して何か人手が欲しい時にすぐ招集がかけられるようなしくみを作る。とにかく何でも情報の共有に取り組んで欲しい。</p> <p>・行政ではなかなかサポートできない（できなかった）、訪問相談、家族教室、居場所支援などの、ひきこもり状態の方に対する支援</p> <p>・ひきこもり状態の方及び家族に対する、行政が行っている様々な分野（福祉、医療、保健、教育、就労）の自立支援事業等の活用促進。</p> <p>・ニート対策としての仕事づくり、手仕事や販売できる物作り、職場と販路の確保。ひきこもりを生まない親の育成、これから親になる若者に向けた、子育て能力醸成のための教育</p> <p>【社会参加の機会の拡大】</p> <p>・行政と連携し、様々な青少年が自主的・主体的に活動できる場の提供と継続支援</p> <p>・「子どもの社会参画」をベースにした取組。子どもたちが真に主体性や社会性を培うためのプログラムの実践、またはその間接的支援。</p>

3 行政が力を入れるべき課題	4 NPOや関係団体が力を入れるべき取組
<p>(2) 地域づくり</p> <p>【地域ぐるみの子育て支援】</p> <ul style="list-style-type: none">・保護者（特に女性、母親）が安心して仕事に従事できるような保育サービスや子育て支援の整備拡充が重要・ひとり親家庭への支援体制の拡充・子育てや家庭教育に関する学習機会の提供・家庭教育を支える環境づくりの推進・家庭・地域の教育機能の再生・学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり（コミュニティ・スクールの推進、地域学校協働活動の充実等）（同様意見2） <p>【ふるさとを知り地域を体験する活動の支援】</p> <ul style="list-style-type: none">・豊かな体験活動の充実 <p>【世代間・地域間等の多様な交流の促進】</p> <ul style="list-style-type: none">・中学生、高校生、大学生も巻き込んだ取組・あらゆる方面において多様化が進む中、男女、若者、高齢者、障害者がお互いに理解し交流できる場を設けていくことが必要と思われる。・交流・研修機会の充実（同様意見2）・市町村は、青少年を育む地域づくりを支援するため、健全な青少年を育むコミュニティ（人、場、システム…）の継承、コミュニティ間の交流事業の実施に力を入れているが、継続していただきたい。 <p>【青少年活動団体への支援】</p> <ul style="list-style-type: none">・学校、児童館等への人的配置の拡充・青少年支援系法人や市民団体への支援等の民の力を活性化させる政策や制度設計に注力をする。・青少年支援系法人や市民団体へのネットワークング、連携強化・相談及び支援機関との連携強化。情報を共有し、必要な支援をつなげられるような体制を整備。・縦割り行政の領域を越えて、「青少年の社会的自立」を果たすために必要な総合的な施策の確立。次に、その実現に向けた地域リーダーの発掘、指導者の養成。施策の啓蒙活動・県内全市町村を毎年持ち回りの会場として事業をしてはどうでしょうか。行政、ボランティア団体、青少年団体がこれだけ力を尽くしているのに県民の大半は知らない。知ってもらうこと、関心を持ってもらうこと、参画してもらうこと。「私には関係ない」という人がいないように。	<p>(2) 地域づくり</p> <p>【地域ぐるみの子育て支援】</p> <ul style="list-style-type: none">・各団体間の連携促進（同様意見3）・それぞれが独自の違った観点からアイデアを出し合い、活動の範囲を広げるとともに、団体間の連携を強めていけば良い。・地域と学校の協働への支援・地域における子育て支援活動・結婚しても活躍できるよう女性の環境改善を行い、全ての母親が安心して育児・保育サービスを受けることのできるシステムを整備する。 <p>【ふるさとを知り地域を体験する活動の支援】</p> <p>【世代間・地域間等の多様な交流の促進】</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもの学習・体験活動への参画・世代間交流に積極的に取り組んでほしい。ひきこもりがちな青少年と社会との繋がりを支援してほしい。 <p>【青少年活動団体への支援】</p> <ul style="list-style-type: none">・活動内容のアナウンス、情報発信（同様意見8）・どのようなNPOや民間団体があるのか、またどのような活動をしているのかを知らないでいる住民が多いのではないかと思います。住民が各NPOや民間団体が行っている活動の恩恵を享受できるように情報発信に更に努めていただけたらと考える。・活動内容が十分に周知されていないと思われるので、積極的な情報発信や、各種競技会等への参加により力を入れるべきと思われる。
<p>(3) 環境づくり</p> <p>【相談体制の整備】</p> <ul style="list-style-type: none">・そもそも相談等の窓口が一般町民に見えにくい。・相談体制の充実・そもそも相談にすら来ない者をどう拾い上げていくか。・自分に合った学習法を見つけるフリースクールの手法等による、多様な学びの場や居場所作りへの取	<p>(3) 環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none">・NPOや民間団体は、青少年を事件・事故から守る環境づくりを支援するため、青少年の居場所づくり、居場所を支える人づくり、情報発信、団体間の連携促進に力を入れています但継続していただきたい。

3 行政が力を入れるべき課題		4 NPOや関係団体が力を入れるべき取組	
	<p>組</p> <ul style="list-style-type: none">・市町村は、社会的自立が困難な青少年を効果的に支援するため、潜在している支援対象者の掘り起こし、必要な支援を提供できる相談体制の整備に力を入れています、継続していただきたい。 <p>【非行防止活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none">・メディア対応能力の育成に向けて、若者から成人までの発達段階に対応した啓発活動に力を入れるべき。・行政は、インターネットの違法・有害情報から身を守るための術（知識・技能、問題発見・解決力、関心・意欲・態度）を伝えることに力を入れているが、青少年自らが次世代に継承することに力を入れるとよりよいと思う。		
	<p>（4）若者活躍支援</p> <ul style="list-style-type: none">・若者同士のネットワークづくり・青少年支援系法人や市民団体への寄付募集や企業 CSR との連携強化支援。→岩手県は全体的に事業系 NPO が少ない印象、従前の非営利型の考え方だけでなく、企業連携や積極的にファンドレイズをする事業型の考えも支援するべきだと思う。		<p>（4）若者活躍支援</p> <ul style="list-style-type: none">・少子高齢化や出生率の低下、第一子の出産年齢の高齢化などが言われているが、それ以前に結婚させないと始まらない。晩婚化を改善するよう、社会人になったら積極的に交流機会などに参加させ、結婚を促すような婚活イベントを定期的の実施するとともに、町内会の民生委員等を活用した未婚者情報等を活用して結婚を促進するようにする。・寄付募集や企業 CSR との連携
	<p>（5）その他</p> <ul style="list-style-type: none">・青少年の自主的活動に対して県や市町村が資金面の支援や専門家の紹介などの面から、一定程度支援して活動を促進する取組の拡充を望む。		<p>（5）その他</p> <ul style="list-style-type: none">・財政的な援助、補助も必要かと思う。・利用者から求められている事業にも関わらず、団体の活動資金を賄えなくなったことによる事業終了のケースもあることから、資金確保の取組が求められる。